

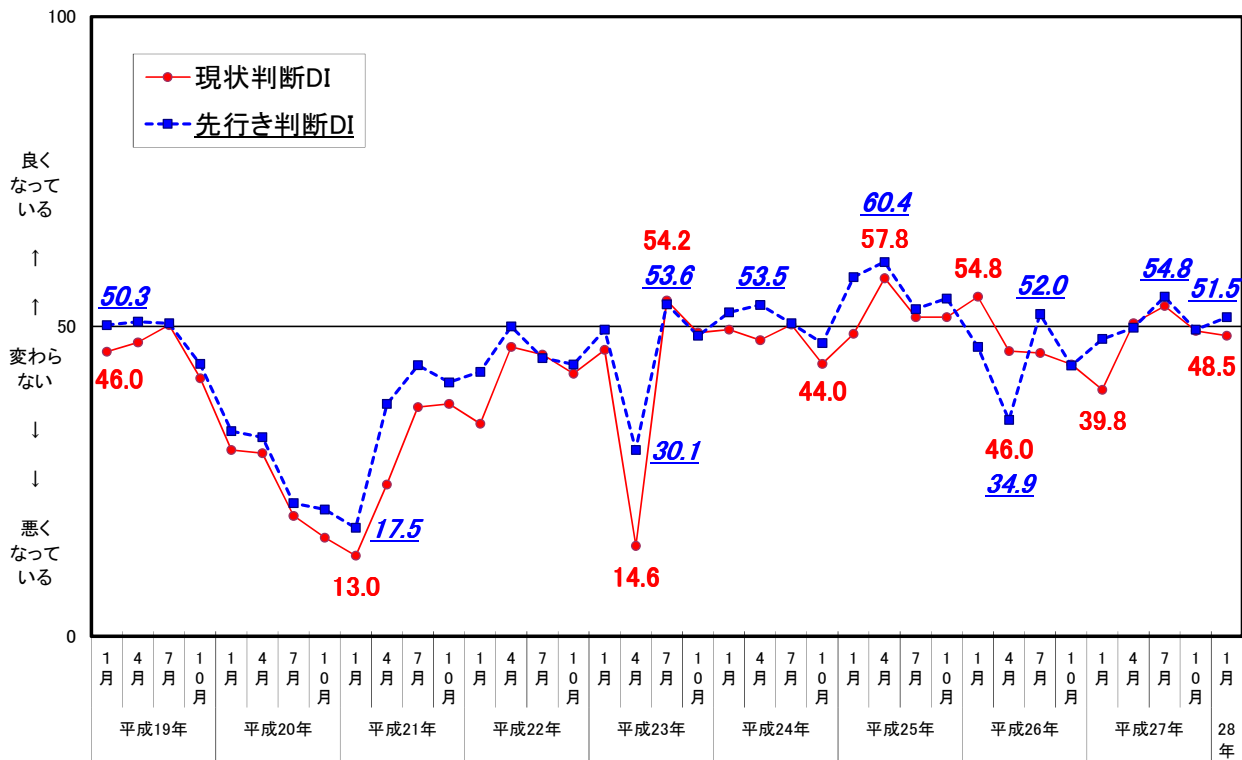
青森県景気ウォッチャー調査 (平成28年1月期)

調査期間 平成28年1月4日～1月14日 回答率100%

概 況

1月期の景気の現状判断DIは48.5と、2期連続で横ばいを示す50を下回った。先行き判断DIは51.5と、2期ぶりに横ばいを示す50を上回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成28年2月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント減少、「やや良くなっている」が4.0ポイント増加、「変わらない」が6.0ポイント減少、「やや悪くなっている」が1.0ポイント増加、「悪くなっている」が2.0ポイント増加したことにより、全体では0.8ポイント減少の48.5となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で下回った。

判断理由では、購買金額が増えている、ガソリン・灯油が安く生活にゆとりがあるなどプラス面をあげる声があった一方で、例年並みで大きな変化はない、良くなっている実感はない、暖冬の影響で季節商品(衣料品・家電等)が売れないといったマイナス面をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、企業関連で1.4ポイント増加したものの、家計関連全体で1.0ポイント減少、雇用関連で3.5ポイント減少した。特に、家計関連の飲食で大きく減少した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青地区でポイントが増加し、津軽地区で横ばい、県南、下北地区で減少した。津軽地区では、3期連続で景気の横ばいを示す50を上回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が1.0ポイント増加、「やや良くなる」が7.0ポイント増加、「変わらない」が10.0ポイント減少、「やや悪くなる」が3.0ポイント増加、「悪くなる」が1.0ポイント減少したことにより、全体では2.0ポイント増加の51.5となり、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに上回った。

判断理由では、景気が良くなる要素がない、不要不急の消費を控える傾向が続く、冬期の閑散期で大きな変動はないなど動きの少ない状況を懸念する声があった一方で、原油価格の下落が続き企業収益や家計への明るい兆しがみられる、北海道新幹線開業効果や消費税増税前の駆け込み需要に期待するという声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連の飲食のみ10.4ポイント減少したものの、家計関連全体で1.7ポイント増加、企業関連で2.8ポイント増加、雇用関連で3.6ポイント増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青、津軽地区でポイントが増加し、県南、下北地区で減少した。下北地区以外の全地区で景気の横ばいを示す50を上回った。

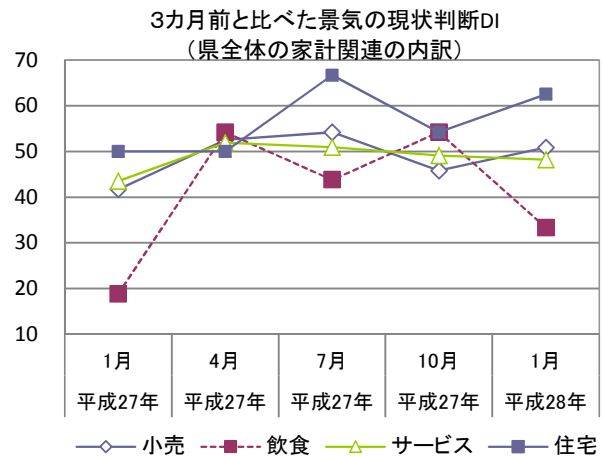
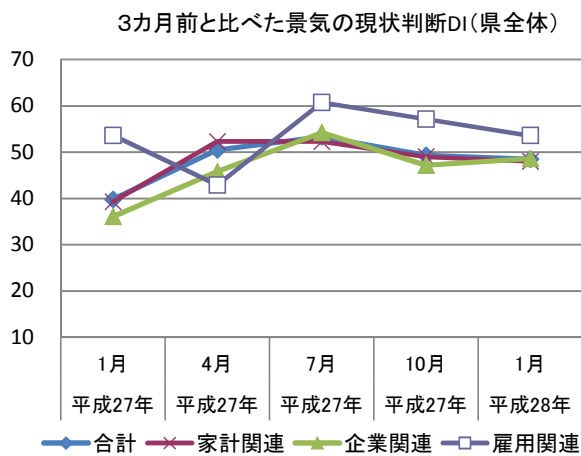
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

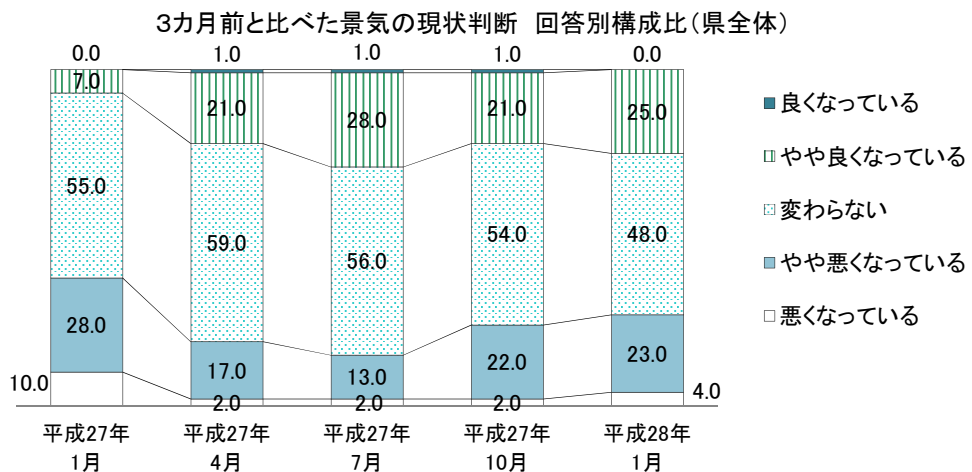
n = 100

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	39.8	50.5	53.3	49.3	48.5	▲ 0.8
家計関連	39.3	52.3	52.3	49.0	48.0	▲ 1.0
小売	41.7	52.5	54.2	45.8	50.8	5.0
飲食	18.8	54.2	43.8	54.2	33.3	▲ 20.9
サービス	43.5	51.9	50.9	49.1	48.1	▲ 1.0
住宅	50.0	50.0	66.7	54.2	62.5	8.3
企業関連	36.1	45.8	54.2	47.2	48.6	1.4
雇用関連	53.6	42.9	60.7	57.1	53.6	▲ 3.5



②回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	▲ 1.0
やや良くなっている	7.0	21.0	28.0	21.0	25.0	4.0
変わらない	55.0	59.0	56.0	54.0	48.0	▲ 6.0
やや悪くなっている	28.0	17.0	13.0	22.0	23.0	1.0
悪くなっている	10.0	2.0	2.0	2.0	4.0	2.0



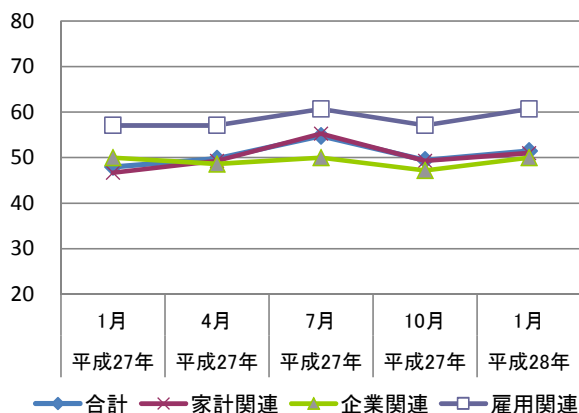
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

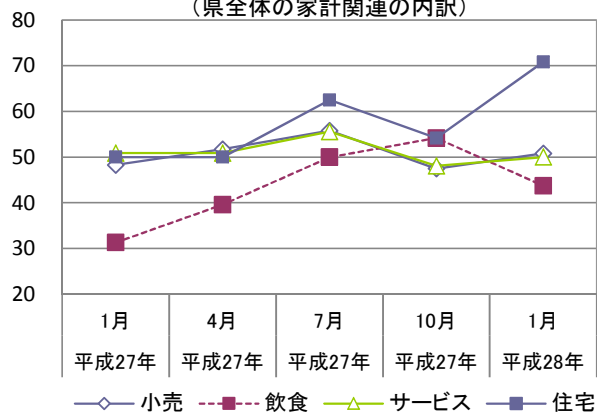
n = 100

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	48.0	49.8	54.8	49.5	51.5	2.0
家計関連	46.7	49.3	55.3	49.3	51.0	1.7
小売	48.3	51.7	55.8	47.5	50.8	3.3
飲食	31.3	39.6	50.0	54.2	43.8	▲ 10.4
サービス	50.9	50.9	55.6	48.1	50.0	1.9
住宅	50.0	50.0	62.5	54.2	70.8	16.6
企業関連	50.0	48.6	50.0	47.2	50.0	2.8
雇用関連	57.1	57.1	60.7	57.1	60.7	3.6

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



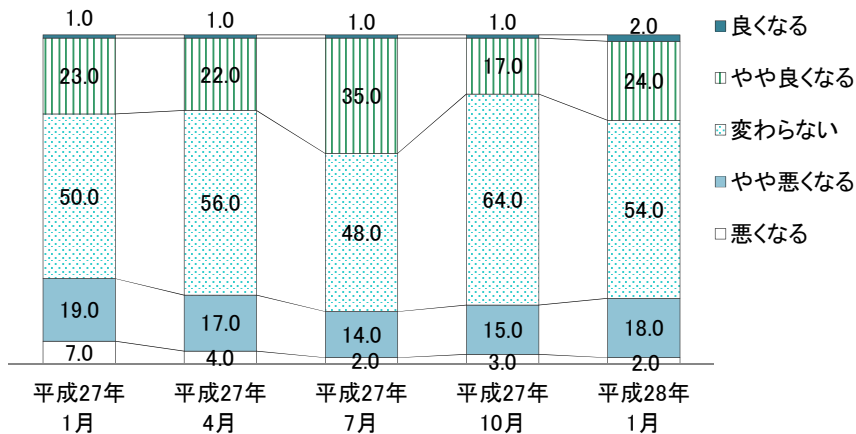
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0
やや良くなる	23.0	22.0	35.0	17.0	24.0	7.0
変わらない	50.0	56.0	48.0	64.0	54.0	▲ 10.0
やや悪くなる	19.0	17.0	14.0	15.0	18.0	3.0
悪くなる	7.0	4.0	2.0	3.0	2.0	▲ 1.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)



3. 地区別の動向

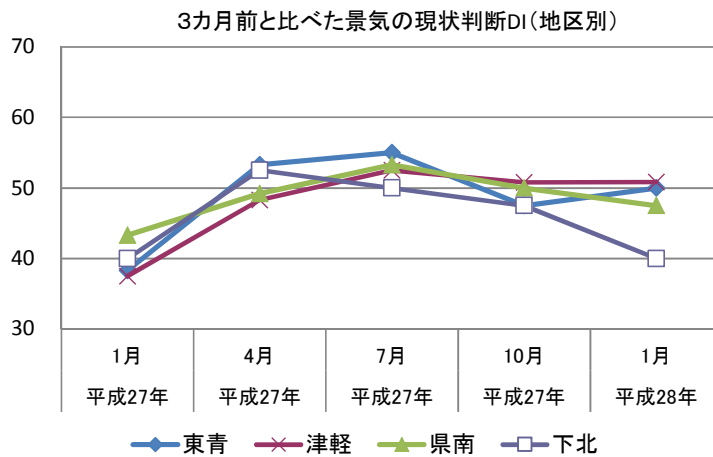
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

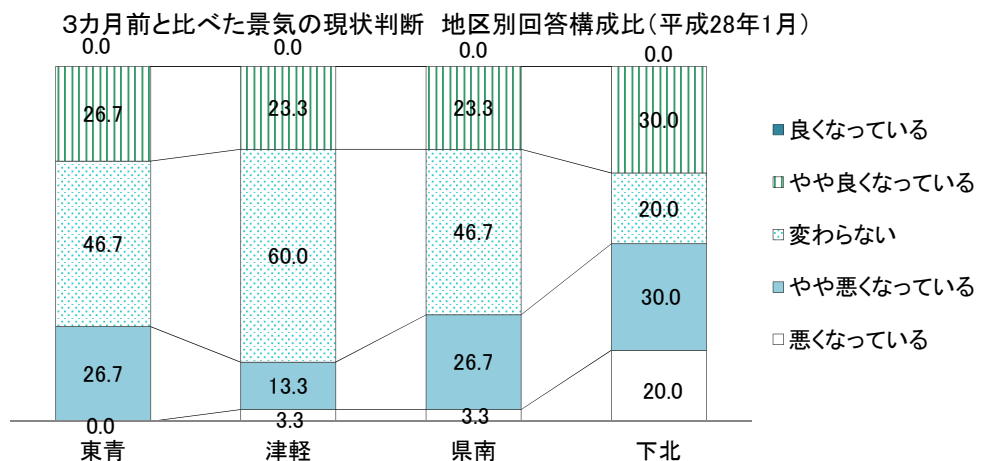
n = 100

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	39.8	50.5	53.3	49.3	48.5	▲ 0.8
東青	38.3	53.3	55.0	47.5	50.0	2.5
津軽	37.5	48.3	52.5	50.8	50.8	0.0
県南	43.3	49.2	53.3	50.0	47.5	▲ 2.5
下北	40.0	52.5	50.0	47.5	40.0	▲ 7.5



②地区別回答構成比(%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	26.7	23.3	23.3	30.0
変わらない	46.7	60.0	46.7	20.0
やや悪くなっている	26.7	13.3	26.7	30.0
悪くなっている	0.0	3.3	3.3	20.0



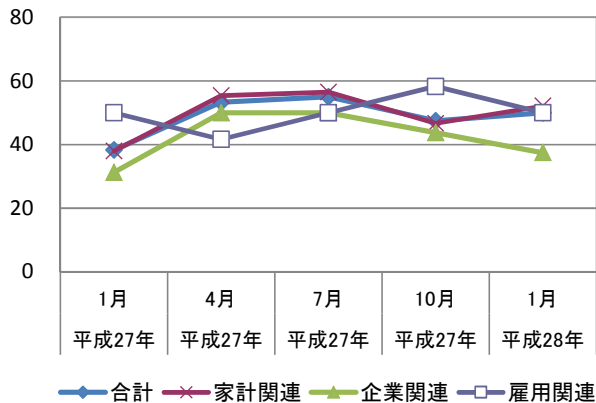
<東青地区>

①DI

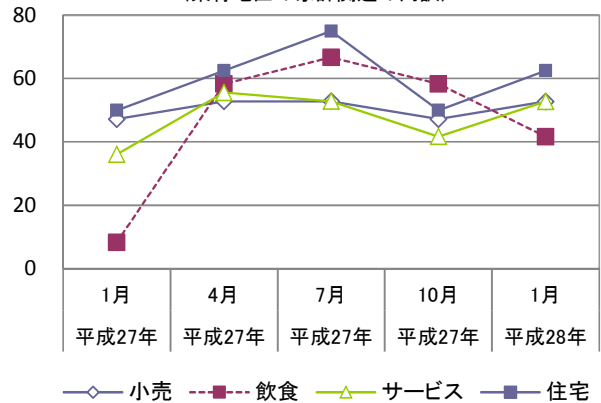
n= 30

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	38.3	53.3	55.0	47.5	50.0	2.5
家計関連	38.0	55.4	56.5	46.7	52.2	5.5
小売	47.2	52.8	52.8	47.2	52.8	5.6
飲食	8.3	58.3	66.7	58.3	41.7	▲ 16.6
サービス	36.1	55.6	52.8	41.7	52.8	11.1
住宅	50.0	62.5	75.0	50.0	62.5	12.5
企業関連	31.3	50.0	50.0	43.8	37.5	▲ 6.3
雇用関連	50.0	41.7	50.0	58.3	50.0	▲ 8.3

3か月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



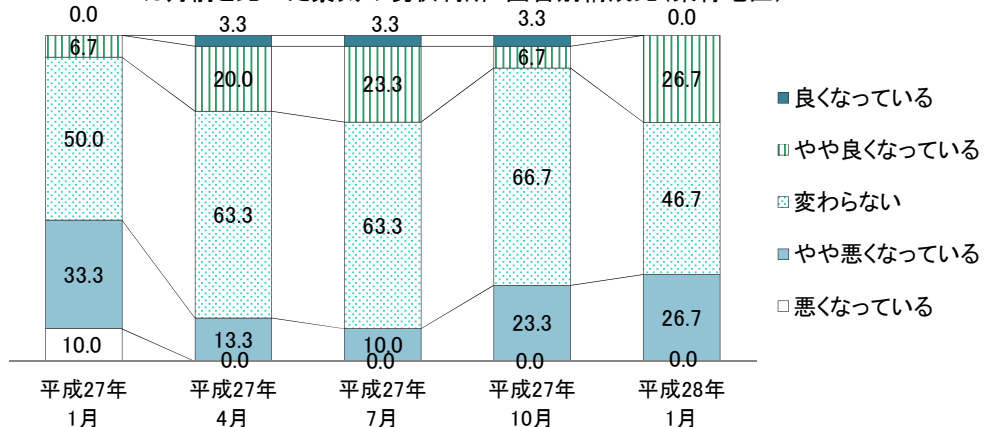
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなっている	6.7	20.0	23.3	6.7	26.7	20.0
変わらない	50.0	63.3	63.3	66.7	46.7	▲ 20.0
やや悪くなっている	33.3	13.3	10.0	23.3	26.7	3.4
悪くなっている	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)



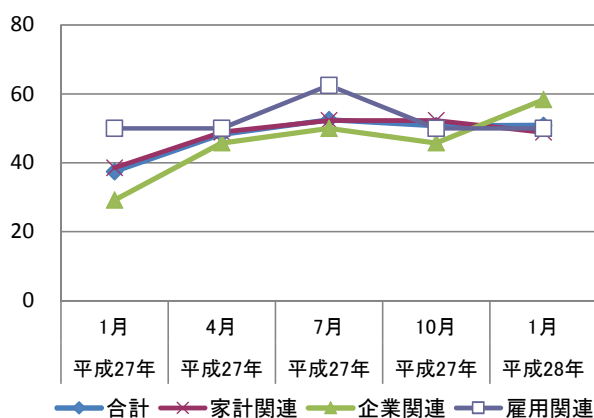
<津軽地区>

①DI

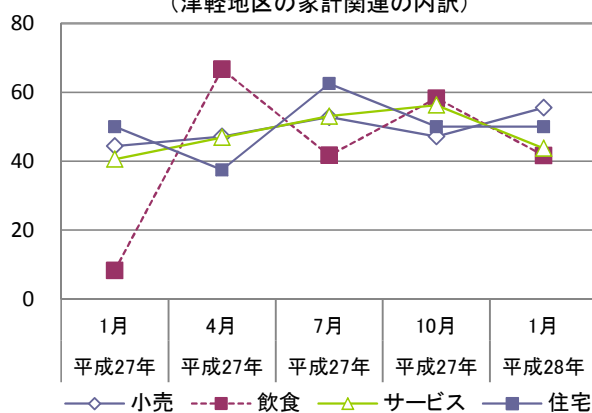
n=30

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	37.5	48.3	52.5	50.8	50.8	0.0
家計関連	38.6	48.9	52.3	52.3	48.9	▲ 3.4
小売	44.4	47.2	52.8	47.2	55.6	8.4
飲食	8.3	66.7	41.7	58.3	41.7	▲ 16.6
サービス	40.6	46.9	53.1	56.3	43.8	▲ 12.5
住宅	50.0	37.5	62.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	29.2	45.8	50.0	45.8	58.3	12.5
雇用関連	50.0	50.0	62.5	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



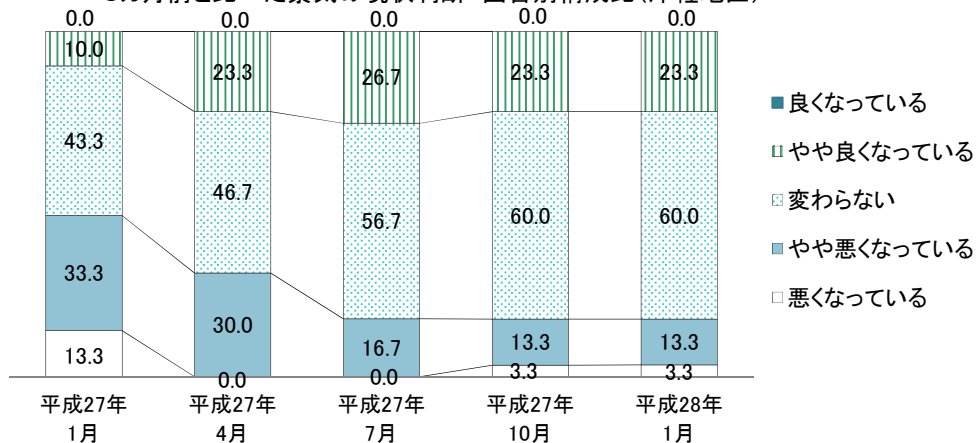
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	23.3	26.7	23.3	23.3	0.0
変わらない	43.3	46.7	56.7	60.0	60.0	0.0
やや悪くなっている	33.3	30.0	16.7	13.3	13.3	0.0
悪くなっている	13.3	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)



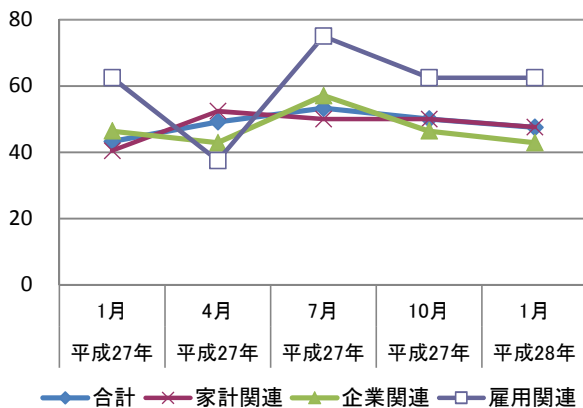
< 県南地区 >

① D I

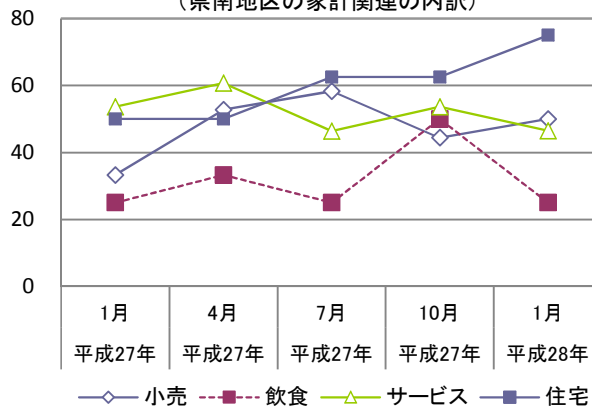
n = 30

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	43.3	49.2	53.3	50.0	47.5	▲ 2.5
家計関連	40.5	52.4	50.0	50.0	47.6	▲ 2.4
小売	33.3	52.8	58.3	44.4	50.0	5.6
飲食	25.0	33.3	25.0	50.0	25.0	▲ 25.0
サービス	53.6	60.7	46.4	53.6	46.4	▲ 7.2
住宅	50.0	50.0	62.5	62.5	75.0	12.5
企業関連	46.4	42.9	57.1	46.4	42.9	▲ 3.5
雇用関連	62.5	37.5	75.0	62.5	62.5	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



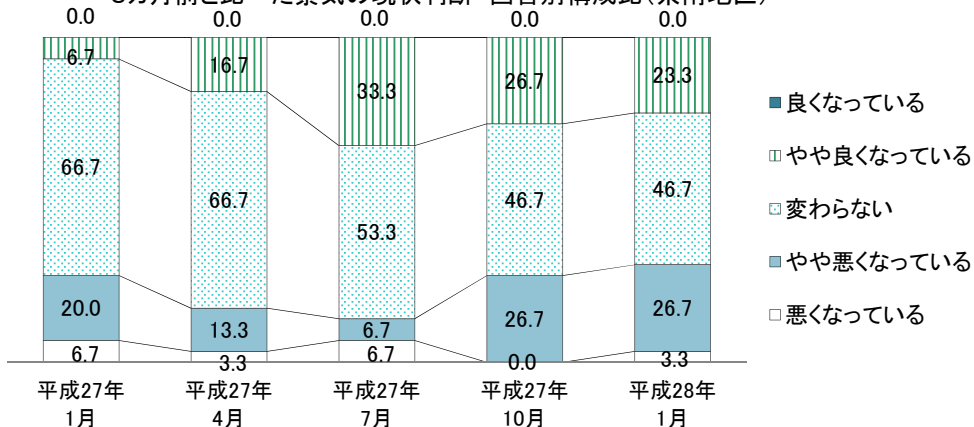
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	6.7	16.7	33.3	26.7	23.3	▲ 3.4
変わらない	66.7	66.7	53.3	46.7	46.7	0.0
やや悪くなっている	20.0	13.3	6.7	26.7	26.7	0.0
悪くなっている	6.7	3.3	6.7	0.0	3.3	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)



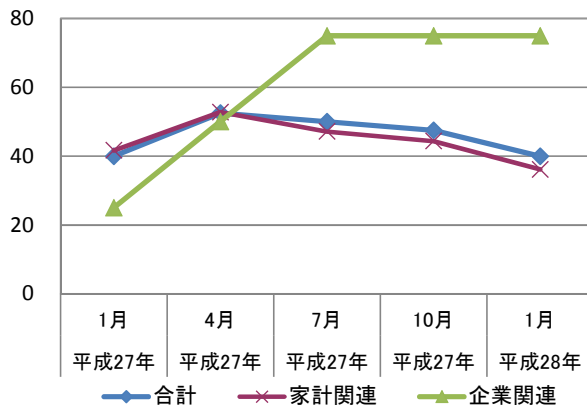
<下北地区> (参考)

①DI

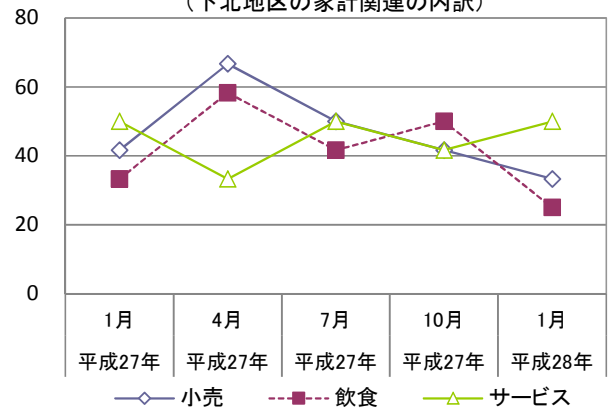
n= 10

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	40.0	52.5	50.0	47.5	40.0	▲ 7.5
家計関連	41.7	52.8	47.2	44.4	36.1	▲ 8.3
小売	41.7	66.7	50.0	41.7	33.3	▲ 8.4
飲食	33.3	58.3	41.7	50.0	25.0	▲ 25.0
サービス	50.0	33.3	50.0	41.7	50.0	8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	50.0	75.0	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3か月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



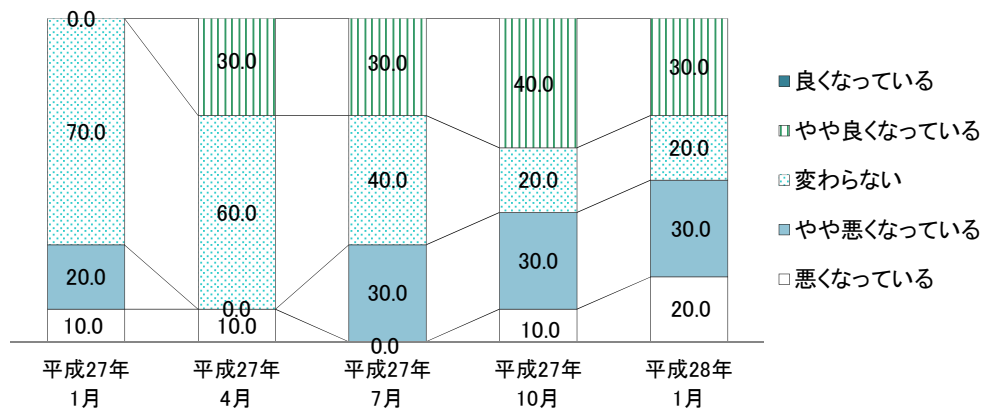
3か月前と比べた景気の現状判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	30.0	30.0	40.0	30.0	▲ 10.0
変わらない	70.0	60.0	40.0	20.0	20.0	0.0
やや悪くなっている	20.0	0.0	30.0	30.0	30.0	0.0
悪くなっている	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	10.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)



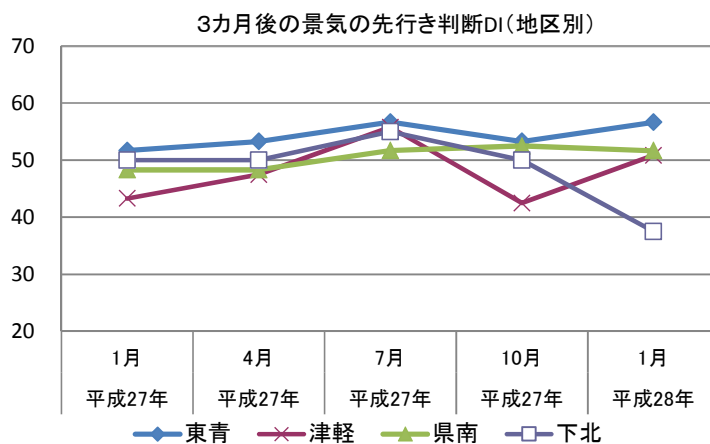
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

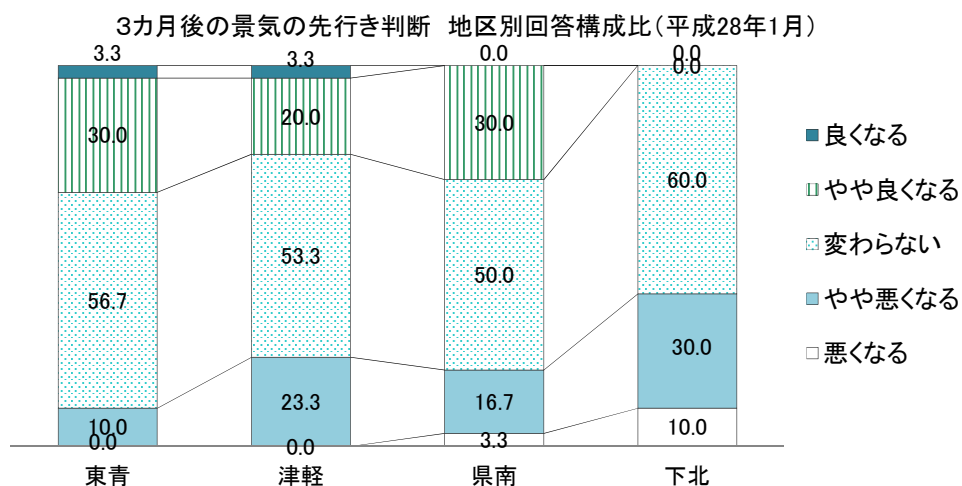
n = 100

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	48.0	49.8	54.8	49.5	51.5	2.0
東青	51.7	53.3	56.7	53.3	56.7	3.4
津軽	43.3	47.5	55.8	42.5	50.8	8.3
県南	48.3	48.3	51.7	52.5	51.7	▲ 0.8
下北	50.0	50.0	55.0	50.0	37.5	▲ 12.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	3.3	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	20.0	30.0	0.0
変わらない	56.7	53.3	50.0	60.0
やや悪くなる	10.0	23.3	16.7	30.0
悪くなる	0.0	0.0	3.3	10.0



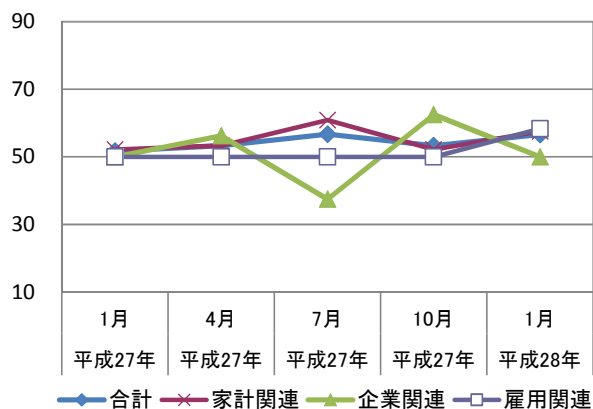
<東青地区>

①DI

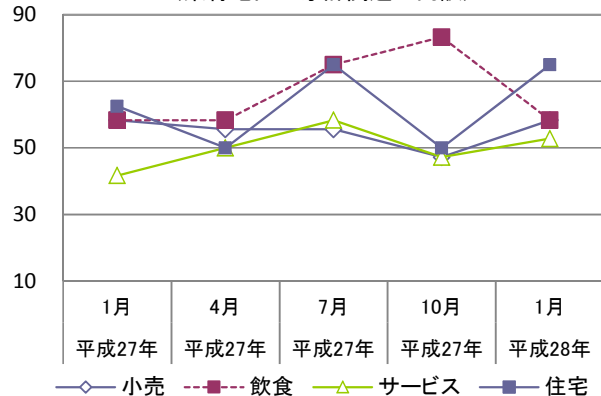
n = 30

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合計	51.7	53.3	56.7	53.3	56.7	3.4
家計関連	52.2	53.3	60.9	52.2	57.6	5.4
小売	58.3	55.6	55.6	47.2	58.3	11.1
飲食	58.3	58.3	75.0	83.3	58.3	▲ 25.0
サービス	41.7	50.0	58.3	47.2	52.8	5.6
住宅	62.5	50.0	75.0	50.0	75.0	25.0
企業関連	50.0	56.3	37.5	62.5	50.0	▲ 12.5
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	58.3	8.3

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



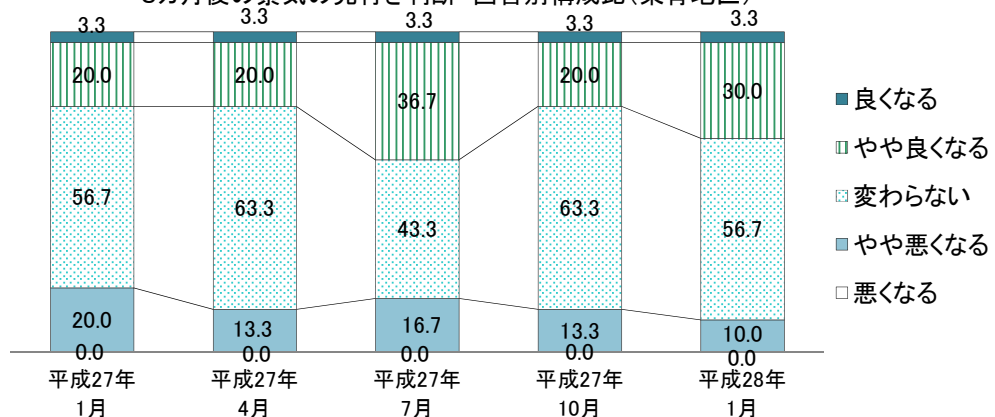
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	36.7	20.0	30.0	10.0
変わらない	56.7	63.3	43.3	63.3	56.7	▲ 6.6
やや悪くなる	20.0	13.3	16.7	13.3	10.0	▲ 3.3
悪くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)



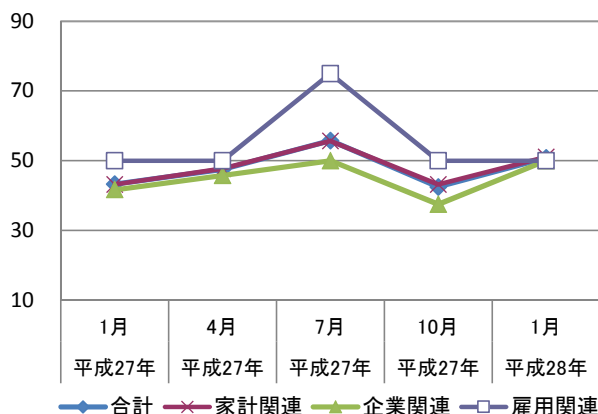
<津軽地区>

①DI

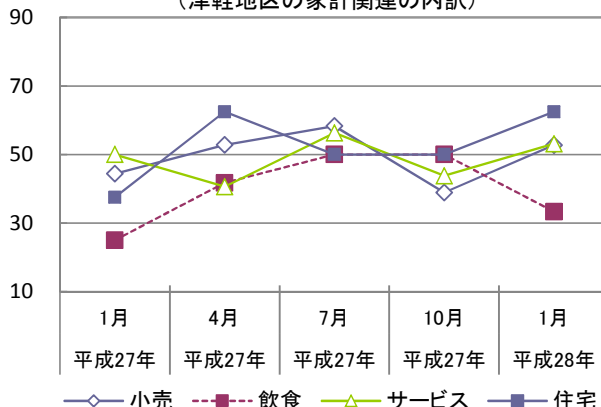
n=30

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	43.3	47.5	55.8	42.5	50.8	8.3
家計関連	43.2	47.7	55.7	43.2	51.1	7.9
小売	44.4	52.8	58.3	38.9	52.8	13.9
飲食	25.0	41.7	50.0	50.0	33.3	▲ 16.7
サービス	50.0	40.6	56.3	43.8	53.1	9.3
住宅	37.5	62.5	50.0	50.0	62.5	12.5
企業関連	41.7	45.8	50.0	37.5	50.0	12.5
雇用関連	50.0	50.0	75.0	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



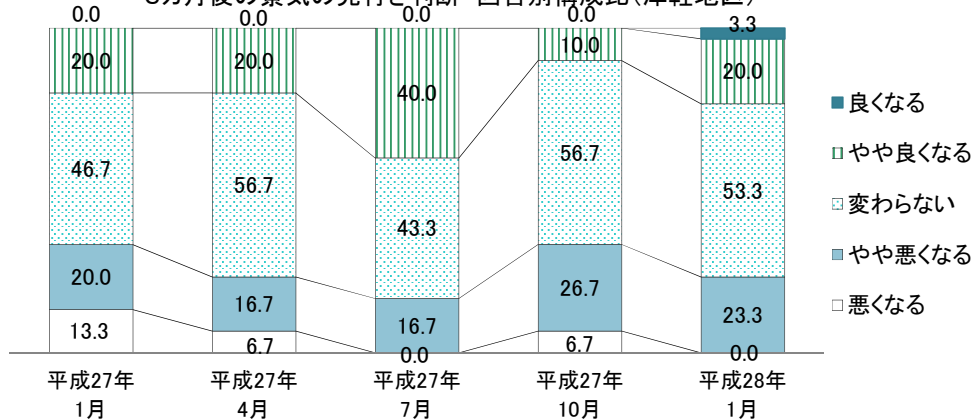
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなる	20.0	20.0	40.0	10.0	20.0	10.0
変わらない	46.7	56.7	43.3	56.7	53.3	▲ 3.4
やや悪くなる	20.0	16.7	16.7	26.7	23.3	▲ 3.4
悪くなる	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	▲ 6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)



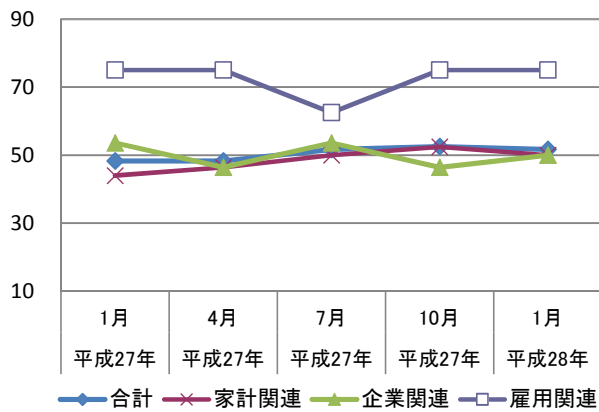
< 県南地区 >

① D I

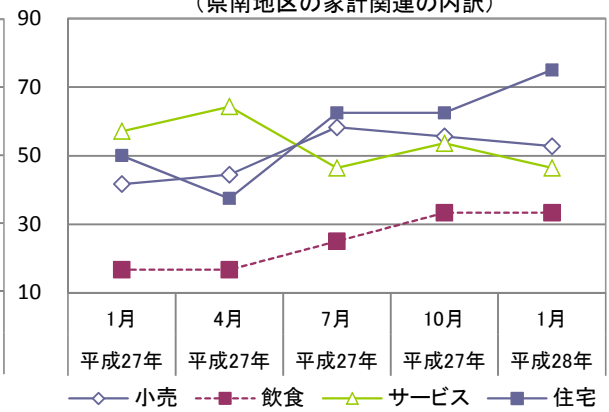
n = 30

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	48.3	48.3	51.7	52.5	51.7	▲ 0.8
家計関連	44.0	46.4	50.0	52.4	50.0	▲ 2.4
小売	41.7	44.4	58.3	55.6	52.8	▲ 2.8
飲食	16.7	16.7	25.0	33.3	33.3	0.0
サービス	57.1	64.3	46.4	53.6	46.4	▲ 7.2
住宅	50.0	37.5	62.5	62.5	75.0	12.5
企業関連	53.6	46.4	53.6	46.4	50.0	3.6
雇用関連	75.0	75.0	62.5	75.0	75.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



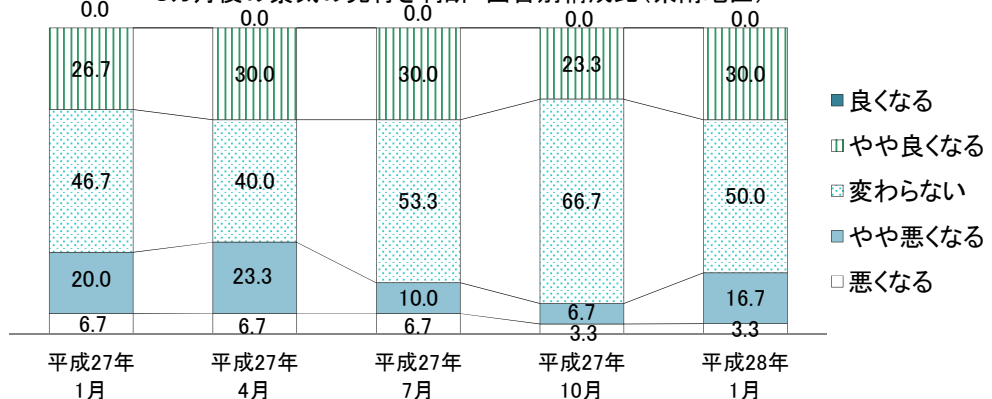
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	26.7	30.0	30.0	23.3	30.0	6.7
変わらない	46.7	40.0	53.3	66.7	50.0	▲ 16.7
やや悪くなる	20.0	23.3	10.0	6.7	16.7	10.0
悪くなる	6.7	6.7	6.7	3.3	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)

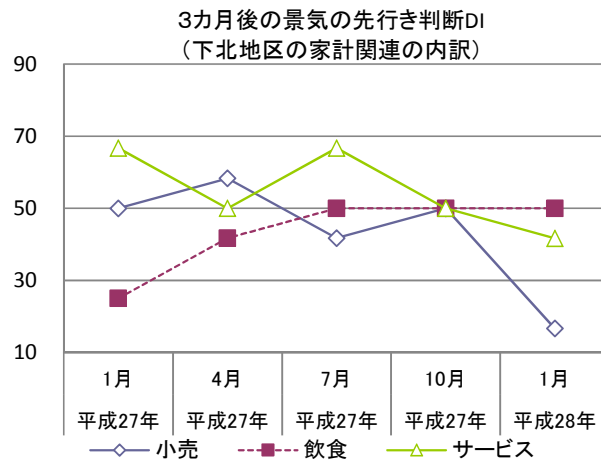
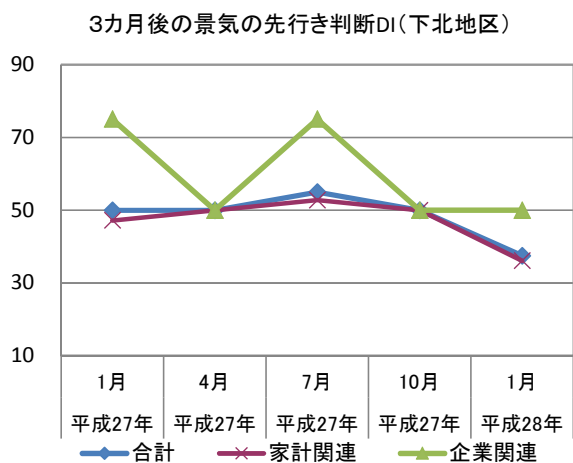


<下北地区> (参考)

①DI

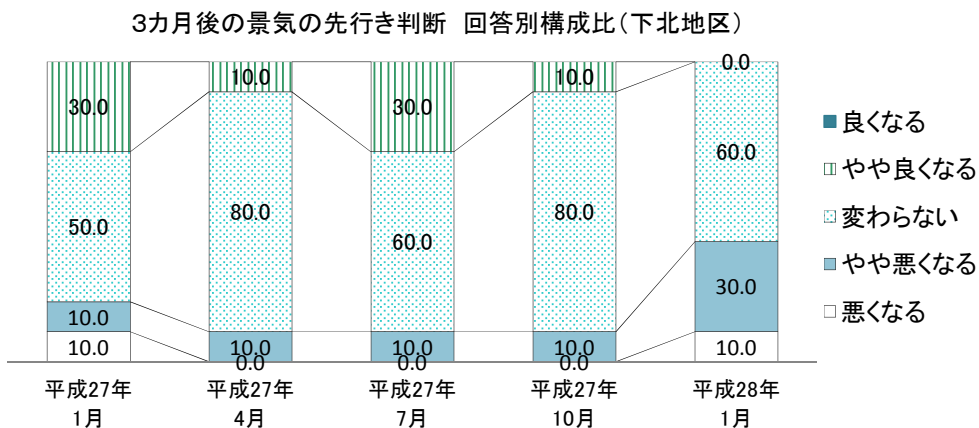
n= 10

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	50.0	50.0	55.0	50.0	37.5	▲ 12.5
家計関連	47.2	50.0	52.8	50.0	36.1	▲ 13.9
小売	50.0	58.3	41.7	50.0	16.7	▲ 33.3
飲食	25.0	41.7	50.0	50.0	50.0	0.0
サービス	66.7	50.0	66.7	50.0	41.7	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	75.0	50.0	50.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	10.0	30.0	10.0	0.0	▲ 10.0
変わらない	50.0	80.0	60.0	80.0	60.0	▲ 20.0
やや悪くなる	10.0	10.0	10.0	10.0	30.0	20.0
悪くなる	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計	東青	百貨店	安売(割引)からの脱却する1年でありました。今後は商品の持つ価値、販売員による接客、情報提供の強化をします。	
			住宅建設販売	消費増税の現実味がだんだん進行している感じで、動きはある。	
			競輪場	3ヵ月前と比較し、1日当たりの平均売上、入場者数が増えている。	
			卸売業	ガソリン、灯油が安くなっているため、家計費が少し楽になっている。その分、食費や小遣いになって回っている感がある。	
			一般飲食店	雪が少ないとやはり青森では色々なことが動かないです。消費活動はやはり人の鑑みたいなものですから。	
			スーパー	来店客数は前年より多く回復傾向です。	
		津軽	美容院	弘前城の移動等、弘前公園でのイベントが増え、経済効果が生まれている。	
			観光名所等	天候が良かった。	
			スーパー	年末商戦において、高額商品が売れた。	
		県南	設計事務所	市内の会合での様子・参加人数を見ていると感じる。	
			住宅建設販売	消費税増税に向けて。	
			卸売業	自治体の発行したプレミアム商品券の期限があったせいか、売上が伸びている。これが、継続できれば、良い方向に向かうと思う。	
			一般小売店	原油価格が低値安定のおかげでガソリン・灯油も例年よりも安く、しかも雪が少ないので、少しゆとりを持って春を迎えられそうである。	
			スーパー	お客様お買い上げ金額が増え、高額商品の売れ方も良くなっている。	
		下北	タクシー	売上が伸びている。	
			スーパー	売上が微増。ただ競合店の出店により、店舗自体は影響を受け出した。	
		企業	東青	経営コンサルタント	一次産業のホタテ、米、リンゴ、野菜等の豊作。石油に関連した業界運送業等の採算が好転している。その他売価アップによる利益率向上が見られた。
				津軽	食料品製造
	津軽		経営コンサルタント	雪がだいぶ少ないこともあって、正月までの人出や消費は伸びているように思う。	
			飲料品製造	取引先からの聞取りで。	
	県南		経営コンサルタント	売上高の月次推移が、全体的に微増した傾向が伺えるため。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	企業	下北	食料品製造	贈答品等の数字は良くないが、日用品、お土産等の数字は伸びている。
変わらない	家計	東青	旅行代理店	経済対策がまだ地元にとどいていない感がある。
			美容院	現実的に収入が増えていないので景気が上向いているという実感がしない方が多い。
			都市型ホテル	忘年会や新年会等の宴会や宿泊状況をみると昨年と同じくらいである。
			設計事務所	大きな景気好転の出来事はなかったが平穏に推移。
			観光名所等	4半期毎の入場者数の推移は、第1Q・前年同期比109.2%、第2Q・同108.6%、第3Q・同104.1%と前年比増もその増加率は縮小基調。
			衣料専門店	プレミアム商品券利用期間が終了し反動が出たのと、暖冬から秋物が苦戦、冬物防寒物も12月にずれ込みセール待ちと振るわなかった。景気観は悪くないと思うが盛り上がりには欠けるような気がする。
			タクシー	いろいろなお客様の話を聞いていても、物も売れないし、外に出る人々が少なくなっていて、大きな変動はないと思われます。
	津軽		百貨店	年末年始は例年並みの推移。3ヵ月前の比較としては、大きな変化は特になし。
			都市型ホテル	地元景気の指標となるレストラン売上が横ばい。
			設計事務所	冬季間は春からの物件の図面作成で追われます。昨年、一昨年前と比較して、仕事量は不変であると感じます。弘前市内においては、ここ数年、安定した仕事量があり、3ヵ月前と比較しても状況が同じと感じます。
			乗用車販売	大きな変化があるとは感じられない。
			商店街	組合店にヒアリングの結果。
			住宅建設販売	建設関連業種は暖冬のため、例年より作業がやりやすく、多忙と思われるが、冬工事、春一番工事の前倒し仕事と思われる。
			卸売業	今年度を通して特に変化がない。
			一般小売店	7～9月の4半期は前年が消費税増税の影響を受けていた時期で今期はアップ率が良かったが、10～12月は消費税増税の影響が薄れた前期に比較してアップ率が低下するも、変わらず「やや良い」という感じである。
			衣料専門店	リンゴ高値、灯油安。
			パチンコ	現段階では、復調の実感がわからない。
			スナック	年末に向けて景気上昇を期待していたのですが、あまり変化が見られなかった。
			コンビニ	前年よりは、雪が減っているが、変わらない。
			県南	旅行代理店

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	百貨店	消費は一進一退のまだら模様で先行きが不透明であるため。
			観光名所等	今までの出荷量に変動がなかったため。
			観光型ホテル・旅館	国内情勢、国外情勢と大きな変化がないため。ただし、2016年は変化がありそう。
			一般飲食店	良い時、悪い時があり、イベントの有無、天気の状態等要因はさまざまだがアップしそうな兆しはあるようだ。
			パチンコ	給料・時給の額が変わらない。
			タクシー	年末年始は忙しかったけれども、年が明けたら閑古鳥。少し雪が降ってくれたらタクシーも使ってもらえると思う。
			コンビニ	これ以上は悪くはならない。
			ガソリンスタンド	個人消費の動向から、あまり変化が感じられないため。
	下北	都市型ホテル	前年に比べ、忘年会・新年会とも減少している。	
		レストラン	プレミアム商品券などがあったから昨年末はよかったが、1月に入ってからあまり変わらない。	
	企業	津軽	広告・デザイン	受注件数、受注額等が特に増えている訳ではなく、良くなってきたとの実感はない。
		県南	食料品製造	原材料高、人手不足と動燃費の低位安定が続いているため。
			飲料品製造	使うべき時の出費はされており、年初の商品の動きは良かったが、年末おさえられていた反動だと考える。
	雇用	東青	人材派遣	特に大きな変動、変動要因がなかった。
新聞社求人広告			有効求人倍率は上昇しているかもしれないが、実感がない。	
津軽		新聞社求人広告	新年の期待感はあるけれども、依然と消費者の財布の紐は固い。これは先行きに明るい展望が見いだせないのが最大の要因と思われる。	
県南		新聞社求人広告	売上が伸びてもいないし、下がってもいない。	
やや悪くなっている	家計	東青	商店街	暖冬の影響で、衣服・身の回り品の売上が悪く、まだ尾をひいている。
			家電量販店	依然として売上では苦戦が続いているため。
			レストラン	年末までは良かったが、その後が。
			スナック	私は若い時代から仕事が好きで頑張ってきましたが、時代の流れで大変になってきました。ですから、歳なりの営業をしております。若い人から中年の人からいらっしゃいます。今年には多少なりに期待しております。
		津軽	旅行代理店	暖冬と少雪の影響により、人の動きが鈍くなっている。
			観光型ホテル・旅館	秋の紅葉シーズンのスタートが早く、ふるさと青森旅行券の利用者も多く売上増でしたが、今は例年通りに戻りつつも売上は下がってきている。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	津軽	一般飲食店	年間を通して見ても冬はどうしてもお客様が、夏と違い、少ないので売上にも影響していると思います。
			県南	美容院
		商店街		季節商品(衣料品・家電等)が売れていないから。
		家電量販店		自社競合店が12月三沢市にオープンしたため。
		衣料専門店		中々寒さが厳しくならないのと重衣料(コート類)の動きが悪く11月度の落ち込みはかつてないほどの売上で終わってしまいました。前年の40%でした。
		スナック		増税による消費が伸び悩みしてるかも。
		下北	コンビニ	飲食店の人が買い物に来なくなり、来た人に聞くと、どんどんヒマになるといっていた。
	ガソリンスタンド		原発関連の仕事も少ないし、公共事業も少なく、土木建設業界が悪いという話を聞きました。	
	企業	東青	食料品製造	問い合わせや、注文の際の文句はいいけれど、支払の遅れが発生している。
			広告・デザイン	暖冬による冬物商品、冬季間ビジネスの低調。
		津軽	電気機械製造	当社の製造部品はスマートフォンに搭載される部品のため、現在受注が落ち込んでいる。
		県南	電気機械製造	車が売れなくなった。街で飲み歩く人が減った。来客に聞いても「仕事上では苦戦している」と言う人が多くなった。
			広告・デザイン	年末年始で普段よりは仕事は多かったが、毎年受注している印刷物がとりやめになったり、印刷物がネット上の告知に変わったり、広告コストも慎重になっている気がする。確かに“効果”という部分ではコストを下げてそんな変化がないという考えは理解できる。
建設	建設発注件数、金額とも官民間わず、少ないと感ずる。			
悪くなっている	家計	津軽	ガソリンスタンド	暖冬少雪が災いしている。
			下北	一般小売店
		一般飲食店		不景気。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	北海道新幹線開業を3月に控え、いろいろ街の感じも盛り上がり、人の動きも当然出てくるものと思います。
		津軽	美容院	GWにかかり、弘前市が動いていくと思う。
やや良くなる	家計	東青	住宅建設販売	消費増税のかけこみ需要への期待というか、なければさみしいので、期待を込めました。
			家電量販店	原油価格の下落が続く、企業収益や家計への明るい兆しがみられるため。
			設計事務所	景気が浮上する社会の動静はないが春先に向けて仕事が動く気配があり期待したい。
			旅行代理店	北海道新幹線開業に期待。
			百貨店	割引を増やしても解決しないです。マーケット分析による強みを生かす工夫をします。
	津軽	設計事務所	民間・公共事業ともに安定して推移しています。暖冬のおかげもあり、例年より着工時期が早まる可能性も大きいです。住宅建築のクライアントも急いで着工したいとの要望が多いです。消費税のことも大きいのでしょうか。	
		卸売業	新年度は公共事業の発注が早い時期に見込まれるため。	
		都市型ホテル	冬期間の燃料が現状を維持してくれる事を期待。	
	県南	美容院	暖冬による外出のチャンスが増える期待と、進学就職の動きが市場活性化につながって欲しいと思っている。	
		住宅建設販売	消費増税のかけこみがはじまるから。	
		一般小売店	北海道新幹線開業は様々なマイナス要因もあると思うが、いわゆる「北」に全国民の目が向くという事でプラスととらえて良いと思う。	
		設計事務所	オリンピックの前年位までは、今の景気が続くのでは。	
		卸売業	八戸市内のスーパーなどで、企画によっては例年より売上の良い月があると聞いている。来年4月の増税前に必要な物は購入する動きが多方面で見られると思う。	
	企業	東青	広告・デザイン	北海道新幹線開業後の活性化に期待。
		津軽	電気機械製造	次期モデルの生産が立ち上がってくるため。
		県南	建設	今年の参院選に合わせ、景気対策が打たれると予想する。
	雇用	東青	人材派遣	北海道新幹線開業・六魂祭等に向かい、外食・サービス等が活性化、人員増による依頼が見込まれる。
			新聞社求人広告	3月の北海道新幹線開業に向け、良くなることを期待する。
		津軽	新聞社求人広告	希望的観測から。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	雇用	県南	新聞社求人 広告	新幹線延伸による景気回復に期待。
変わらない	家計	東青	衣料専門店	現政権になって安定していることから景況感は悪くないと思うが、実質賃金が上がらず消費行動に向わない様な気がする。
			観光型ホテル・旅館	北海道新幹線開業直前の買い控えを心配する。
			競輪場	ほとんど同じお客様の為。
			スナック	私達飲食業は見当つきません。仲間がお店をしめる方が多く寂しさを感じています。若い人から年配の方がいるからバランスが有り楽しいと思いますが、そう自分に言い聞かせて頑張っています。
			都市型ホテル	冬期間の季節要因による落込みはあるものの予約状況は昨年並である。
			観光名所等	冬季の閑散期となり、大きな変動はないものと思料。
			スーパー	青森市では降雪量が少なく消費経済に影響がでる可能性もあるが大きな変化はないと思われる。
			美容院	商品の売上が少しずつ減少している。
			商店街	やはり、季節ごとの気候でないと、売れるものが売れない。
			タクシー	お客様のお話で、3ヵ月後もあまり変動がないとの意見が多かったです。自分もこのままの景気が続くと思います。
	津軽	住宅建設販売	実質賃金が上がっていない。むしろ下がっている状況であり、消費にお金が回っていない。	
		商店街	プラス要素が見当たらない。	
		スーパー	特に収入が増加しているようには見えない。	
		衣料専門店	弘前他、ベースアップ殆どなし。	
		百貨店	北海道新幹線開業、弘前城の観光等で、どの程度の盛り上がりが出るか不透明であるが、期待したい。	
		旅行代理店	毎年冬の間は同じような状況ですが、3月26日開業の北海道新幹線の影響がどうでるか。	
		パチンコ	少しずつ良くなっていると思うが、3ヵ月くらいでは何も変わらない。	
		観光名所等	天候次第。	
		一般小売店	「やや良い」で変わらないであろうと思うのは景気の良い人がやや増えているように感じられることが理由である。	
		コンビニ	除排雪が出てくれば良くなると思っています。	
県南	商店街	好転する理由が見当たらない。		
	家電量販店	単価アップするも客数減。		

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	コンビニ	良くなる材料も悪くなる材料もない。
			百貨店	社会保障費の負担増や来年の消費増税を意識して不要不急の消費を控える傾向が続くと思われるため。
			一般飲食店	経済が不透明な所も有り予想が難しい。この3か月の状態で今年の動きがどうなるか感じとれそうだ。
			観光名所等	生産量が例年どおりと思われるため。
			ガソリンスタンド	現状、景気を大きく左右するマターが見当たらないことから。
			旅行代理店	所得税、中国の減速、ISなど。
			スナック	今年も雪が大変です。
			タクシー	「地方再生」という言葉が本物になって我々に届いてくるのはいつだろうか。IT関係はいいらしいという話は聞こえるけれど、その他の会社は結構きつらしい。
	下北	都市型ホテル	婚礼、宴会等予約件数が伸びていない。	
		ガソリンスタンド	先行きが見えない。都市部は良いかもしれないですが、地方は良くなるのかが不安です。	
		一般飲食店	とても不景気です。	
	企業	東青	経営コンサルタント	人手不足の感じは強いが賃金の上昇につながっていない。スーパー等で値上げが徐々に進んでいるが消費水準は横ばいか、業種規模により差が出ている。中には人手不足に対応出来ていないところもある。
			建設	特に良くなると思われる材料がありません。
津軽		経営コンサルタント	1～3月は、特に良くなりそうな兆候は感じられない。大型ショッピングセンターも休日は人出があるが、平日は閑散としている。	
		広告・デザイン	特段、景気が良くなる要素もなく、この冬期間は工事物件も少なく、年度末の3月も大きな期待が出来ない状況。	
県南		飲料品製造	季節の節目での動きはあるが、それが平常に続かない。なんとなく来年の増税への警戒心が早くも出てきているかも。	
		食料品製造	新年度に向けて新味のある施策、材料が見当たらないため。	
		広告・デザイン	やや悪い状況で変わらないという意味。業種によって格差が大きい。	
		経営コンサルタント	今後3カ月は冬季であることを考えると、建設業や運送等の業種は収入が減少すると思われるため、全体的には変わらないか、やや悪くなると思われる。	
下北		食料品製造	1月・2月は天候・雪の状況で、大きく動向が変わるので何とも言えない。	
やや悪くなる		家計	東青	レストラン
	津軽		スナック	雪も影響して人の流れも少なくなると思います。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	津軽	観光型ホテル・旅館	宿泊業は例年桜まつりが始まるまでは閑散期です。
			一般飲食店	冬はどうしても、観光客が少なく、客足も遠のきますので、4月の花見ごろまで売上にも影響していくと思います。
			ガソリンスタンド	冬物商品が予定通り売れなかった分、春まで悪影響が出る。
	県南	パチンコ	若者が少ない為。	
		衣料専門店	増税など将来に対する不安感がある以上サイフのヒモは固くて当然かなと思ってしまう。	
		スーパー	正月が過ぎ、すぐに客数が減り、お買い上げ品を見ても、節約しているのが分かるようになってきた。	
		観光型ホテル・旅館	不安定な海外情勢に引っ張られ、国内の動きも鈍くなるのでは。	
	下北	タクシー	2月・3月は毎年悪い。	
		スーパー	競合店の出店による影響のため。	
		コンビニ	とにかく、人口が減って若い人がいない。大学や専門学校などを作ってほしいし、企業誘致もしてほしい。	
企業	東青	食料品製造	年末年始が過ぎ、新学期に向けて、様々なお金がかかるのを見越して、財布のひもがかたいと感じる。	
	津軽	食料品製造	アメリカの利上げ、株安等、徐々に生活を圧迫してくるのでは。	
	県南	電気機械製造	消費税上げのプレッシャーは大きい。家計も企業も悪影響におびえている。そんな心理で景気がよくなるわけがない。世界的にもテロなど不安要素が高まった。	
悪くなる	家計	県南	レストラン	マイナンバーの導入で、副業が会社にバレる可能性があり、副業をやめる方が出てくるのでは。飲食業界は、人員確保するのにもっと厳しくなると思います。収入が減る方が飲みに出る回数が減り、お客様を確保するのにも大変になるのかと思われます。
	家計	下北	一般小売店	良いニュースが無いですから。新聞・TVの内容でお客様の様子が変わります。

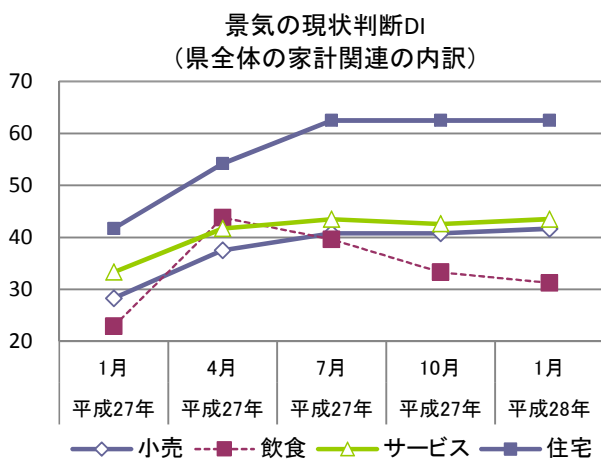
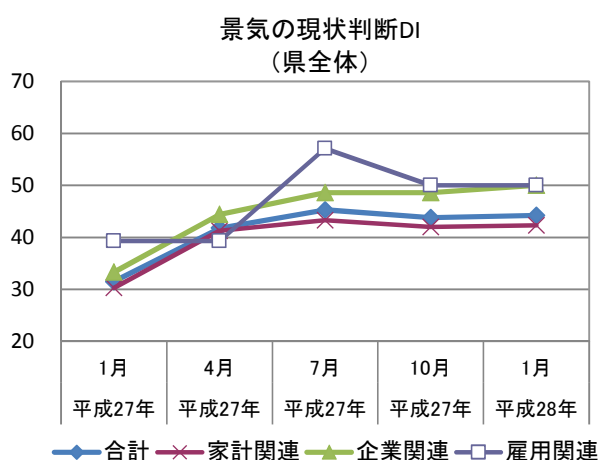
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

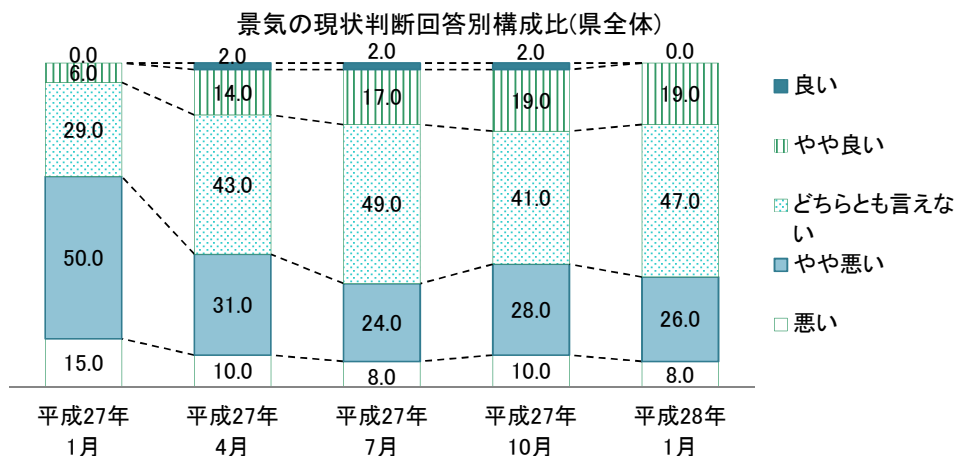
n = 100

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	31.5	41.8	45.3	43.8	44.3	0.5
家計関連	30.3	41.3	43.3	42.0	42.3	0.3
小売	28.3	37.5	40.8	40.8	41.7	0.9
飲食	22.9	43.8	39.6	33.3	31.3	▲ 2.0
サービス	33.3	41.7	43.5	42.6	43.5	0.9
住宅	41.7	54.2	62.5	62.5	62.5	0.0
企業関連	33.3	44.4	48.6	48.6	50.0	1.4
雇用関連	39.3	39.3	57.1	50.0	50.0	0.0



②回答別構成比 (%)

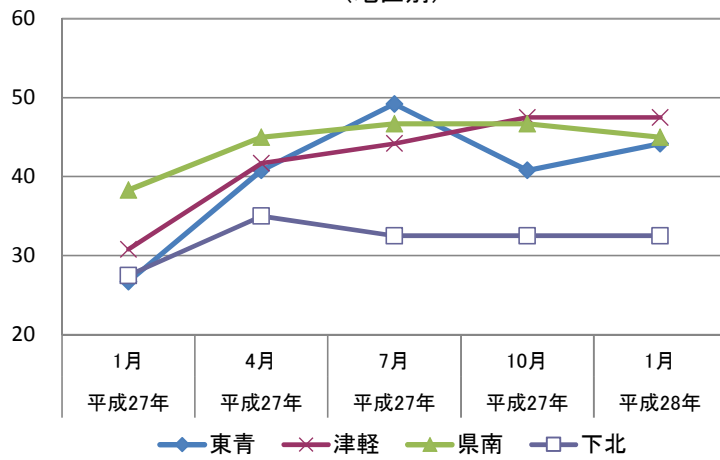
	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
良い	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	▲ 2.0
やや良い	6.0	14.0	17.0	19.0	19.0	0.0
どちらとも言えない	29.0	43.0	49.0	41.0	47.0	6.0
やや悪い	50.0	31.0	24.0	28.0	26.0	▲ 2.0
悪い	15.0	10.0	8.0	10.0	8.0	▲ 2.0



③地区別DI

	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	前期調査 との差
合 計	31.5	41.8	45.3	43.8	44.3	0.5
東青	26.7	40.8	49.2	40.8	44.2	3.4
津軽	30.8	41.7	44.2	47.5	47.5	0.0
県南	38.3	45.0	46.7	46.7	45.0	▲ 1.7
下北	27.5	35.0	32.5	32.5	32.5	0.0

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	プレミアム券フィーバーが終了し、今年は新幹線関連で青函交流が活発になることを期待するが、県都青森、地の利を活かせるかが問われます。又、大型客船寄港数が増えることからどう楽しんでもらえるかも課題です。
		一般飲食店	税金がたくさんで商売も本当働けばその分課税されるので困ったものです。ただすわって金が入るのでもあるまいし、何かと難しい課題が日々やってくる最近です。経済の基礎になるものの整備をその分きちんとして欲しいです。
		レストラン	まだまだ景気が良くなるのには時間がかかる。
		タクシー	われわれの業界の人々の話を聞いていると、3市(青森、弘前、八戸)の中で、青森市がいちばん景気が悪いと思います。
		美容院	世間では、景気が上向いていると聞くが、実感がないため、政府に対する不信が多く見受けられます。
		住宅建設販売	一部で建材の納品が間に合っていない位の商品がある現実に驚いております。
	津軽	百貨店	平成28年3月26日北海道新幹線開業での商業的活用を期待する。
		一般小売店	中国人留学生がプチ爆買いをしてくれて助かっている。消費意欲の強い人はヘビーユーザーとして売上に貢献している。それ以外の方は購買意欲が低下気味である。
		一般飲食店	今のところ雪が少ないので助かっています。でも雪が少ないと困る人がいる中、少し楽かなと思って過ごしています。
		都市型ホテル	若年層労働者の県外流出を県としても強力で抑制してほしい。
		観光名所等	お年寄り受入施設が非常に多くなってきている。
		旅行代理店	お客様の声として、北海道新幹線に一度は乗ってみたいが、函館迄乗り換えがあり、時間もそんなに短縮されず、料金も高いという声が圧倒的に多いです。
		ガソリンスタンド	公共事業(ハコ物)は相変わらず出ているが、近年、道路補修工事が少なくなったような気がします。
		設計事務所	東京オリンピックの国立競技場の建設が決定した事により、震災地復興プラススタジアム建設となり、益々地元の建設に携るマンパワーが不足すると思う。マンパワー・資材の不足など、仕事があっても出来ないという事態にならないか心配です。
		住宅建設販売	暖冬で雪が少なく、除雪の仕事で冬の生計を立てている人は大変だと言っている。
県南	コンビニ	青天の霹靂使用のおにぎり販売好調でした。	
	百貨店	年末年始は前年以上の賑わいがあったが、一過性のものかどうか今後見極めていきたい。また、初売りはイベント参加やコト消費ヘシフトしているのが顕著だった。	
	衣料専門店	景気の先行きは、不安がいっぱいですが、駐車場に関する利用しやすい環境づくりや八戸中心街の再開発の動きも活発化しているので、少し期待をかけたと思います。	
	一般飲食店	中東のイザコザがあり、石油価格が上がりそうで心配しています。この冬、久々の石油安で良かったので家計も助かっていた所にこの状態です。購買力低下につながるのでは。	
	観光型ホテル・旅館	観光業としては、やはりインバウンドの動きが良い(円安)のため、景気としては良いが、安定性に欠ける。	

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	タクシー	今冬は暖冬が我々を苦しめている。雪が降らないと水不足になるのではないかと心配している。
		美容院	一般的に介護のために時間が取れず、買物や自分の身の周りの事が思うように出来ない年齢の人がたくさん居るので、経済も活性化してないように感じます。
		ガソリンスタンド	原油価格下落の影響により、石油製品の価格が下がっていることは家計負担の減少につながると思われるが、現状、個人消費を上振れさせる迄には至らず、変わらぬ状況が続くものと思われる。
		設計事務所	建築技術者が不足している。景気対策も、その辺を考慮して対策するべきでは。
	下北	コンビニ	もっと抜本的な少子化対策をしてほしい。このままでは青森県が限界集落になってしまう。
		スーパー	高齢化が進み、来店手段や動機、来店頻度や商品など多々変化が見られる。行政ではなにかフォローしていただけますか。
		一般小売店	昨年のプレミアム商品券ですが、政府は消費の増加を予想したでしょうが、実際はプレミアム分が貯蓄へまわったのでは。そのように感じます。購入できなかった方は、全く恩恵無し。バラマキではなく、減税に期待。
		一般飲食店	2月に入ればもっと人出がなくなり、不景気だと思います。日本のトップの人たちがいい加減な人ばかりで、良くなる見通しは何もないです。
企業	東青	食料品製造	様々な業界で好景気と不景気で差がでていると感じます。
		建設	「青森市」は完全に波に乗り遅れた。
	津軽	建設	北海道新幹線、新青森・新函館北斗間開業が3月に迫っている。1時間で行けるのはうれしい。行きたくなる。ただ青森が通過駅だけになってほしくない。青森で降りて、見て、食べて、県内を回ってほしい。それと、マイナンバーが始まったが、大丈夫か。不安で心配だ。
		広告・デザイン	今年は例年より雪が少なく、業種により、良かったり、悪かったり、様々と思いますが、それにより他業種の方々はどうなのか知るのも良いと思います。その様なアンケートも良いかと。担当の方々いつも通りの内容ではなくもう少し工夫してみたらどうでしょう。
	県南	建設	年末の忘年会シーズンにタクシーがつかまらず苦勞した。例年より盛り上がっていると思い運転手に聞いてみたが、台数が減っているだけのみの現象とのことであった。
		広告・デザイン	広告主も対効果ということを含めて今まで以上に考え、単にチラシを出せばよいという事ではないので、この業界の本質であるマーケティングレベルで販促を考えられる広告代理店でなければならないのだが、残念ながら少ないと言わざるを得ない。
	下北	食料品製造	平成28年4月からの消費税の10%と8%のすみ分けで、疑問と矛盾を抱いているのは、私だけでしょうか。
	雇用	津軽	新聞社求人広告
県南		新聞社求人広告	住宅関係の広告が若干増えている。別業種にも波及してくれれば。